

ゆめぽけっと クラブ通信

10月号



お着替え袋の石鶴忍

ゆめぽけっとクラブでお預かりしている着替え袋がロッカーに置いてありますので、中身の石鶴忍、補充をお願いします。不要な物は持ち帰りをお願いします。

「宿題は終わったの?!」

放課後児童支援員は教員ではないので、勉強を教えることはできませんが宿題に付き合っただけで済ませることはできません。宿題を強制することはありませんが、お家の方も「宿題はゆめぽけっとクラブで終わらせて欲しい」と思っているのが本音だと思います。こどもたちも、スポ少や習い事があるためここで終わらせよう、とがんばっています。でも、お友だちと遊びたい!と思っているのも事実です。時には泣きながら宿題に取り組んでいる子もいます。そんな時は「ここまでがんばろうか?」と声をかけて取り組ませています。お家でやる分を残してしまう形になりますが、お家に帰ってから「なんで終わってないの?」ではなく、時には「ここまで頑張ったんだね。」と声をかけてあげて欲しいと思います。宿題も親子のコミュニケーションの一つではないでしょうか。「…宿題終わってない。だって遊びたいんだもん!」もこどもらしい言い訳ですよ?!



おもちゃ会議を開きました



議題は「ゆめぽけっとクラブおもちゃ会議」です。ゆめぽけっとクラブの限られた予算の中で、こどもたちはどんなおもちゃを購入して欲しいのか、6年生を中心にみんなで話し合ってもらいました。ゆめぽけっとクラブの全員に話を聞きたかったのですが、全員が集まることは難しいので比較的用户数が一番多かった9月24日に行いました。

議長は秦 直央さん、書記は佐久間 零さんです。みんなから出された意見で、一番多かった購入して欲しいものは“やわらかチャンバラ”次が“ハンモック”“バット”と続きました。ハンモックは設置場所が難しい面がありますので、購入できるかは教育委員会事務局と話し合って決定したいと思います。短い時間の「おもちゃ会議」でしたが、みんなの意見が聞けてよかったと思います。さらに検討を重ねてから購入したいと思います。また、会議の後でみんなの前では自分の意見がなかなか言い出せなかった低学年の子から「絵の具が欲しい…」とポツリ。出してから片づけるまで手間がかかると思いしだい込んでいた絵の具も、こどもたちが自分で片づけ、管理できるように配置場所を変えなければと反省しました。



※お家の方がお迎えに来たのに、「まだ遊びたいから」という理由でゆめぽけっとクラブの利用延長はできません。放課後児童クラブの主旨をご理解の上、お子さんともお話ししてください。



カメラを子どもたちに渡して
撮影してもらいました。



※トランポリンは
買ってほしいおも
ちゃにはランクイン
しませんでした。



ナイスショットを紹介!

3人で息を合わせて

「ハイ、チーズ!」



↑いつも中良しの二人です。

←人生ゲームで遊ぶ子どもたち。一マス進む
ごとにいろんなことが起ります。人生っていろいろ
あるんだね…(^ω^)

(夏休み中の一コマ)

